

サテライト市長室 in 三瓶支所 意見交換報告書

開催日時	令和5年7月23日（日）9時30分～10時15分	
会場	三瓶保健福祉総合センター2階 多目的室	
出席者	団体	三瓶東地区をよくする会
	市	市長、三瓶支所長、三瓶支所（産業建設課、地域生活課）、環境衛生課

【交換内容（要旨）●：団体からの意見 ⇒：市の見解】

※内容については、主な意見を抜粋して記載しております。

テーマ1	<p>＜猫の社会問題について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●野良猫の様子に耐え切れずに餌を与えてしまう人もいるのが現状。糞の始末などもあり、野良猫に餌を与える人が責められることも理解はできる。しかし、餌を与えなければ、野良猫はいなくなるのだろうか。 ●野良猫に餌を与えている方の中には、自費で去勢手術を行っている方もいるが、個人の力では、猫の繁殖力には追いつかないのが現状。 ●保育園や児童館の近くで猫が繁殖。砂場など、毎日消毒を行い、また、柵などの対策をしたが効果がない。 ●猫と共存するための、不妊去勢手術などの市の支援をお願いしたい。 <p>⇒令和2年度以前は、去勢手術に対する予算は、計上していなかったが、令和3年度から補助金の予算を計上しているところ。市内の様々な場で、猫の問題に対する声をいただくため、今後も何らかの措置は講じる考えである。本予算については、今後も必要であるという認識。</p>
------	---

<p>テーマ2</p>	<p><地域猫活動の例について></p> <ul style="list-style-type: none"> ●宇和島市の九島においても、猫の問題があり、県外の移動手術車に協力を依頼し、不妊去勢手術を実施。1日に20匹まで手術が可能ということもあり、一斉に手術できるため、猫を減らす効果があるとのこと。 ⇒移動手術車による対応については、市としても参考にさせていただき、研究させていただく。 ●県の補助については、どのような広報をしているのか。 ⇒広報誌とホームページにて周知をしている。 ●猫を捨てる人などを指導するのに、手術の補助金があれば指導しやすい。 ⇒対策として、特定の地域に集中して取り組む方法もあるが、限られた予算の中で、補助単価を下げてでも広域的に対応する方法も検討していかなければいけないと考える。 ●餌を与えるな、ということも徹底するのは難しいところ。そうであるならば、その猫で代が終わる不妊去勢手術しか方法はないのでは、と考える。手術後、猫が活着ている間は、地域でサポートするという形のほうが現実的であり、猫が減少した事例もかなりある。 ⇒今後、効率的な方法や移動手術車の事例なども参考として考えていく。
<p>テーマ3</p>	<p><助成金の不足による問題の拡大について></p> <ul style="list-style-type: none"> ●民間企業から市へ支払われる借地料による財源を今回の補助事業に加算するなどはできないか。 ⇒他の支所でも民間企業からの借地料による収入がある。市も広域的な状況の中、収入を全額財源にする、ということはないが、検討したい。 ⇒財源確保の面については、地域の行事などで寄付を呼びかけるなども、検討いただきたい。 ●秋頃に三瓶の公共施設を借り、移動手術車の協力を依頼してはどうか。デモンストレーションという方法はどうか。